

[成果情報名]9月下旬に成熟する着色容易なリンゴ新品種「岩手7号」

[要約]リンゴ「岩手7号」は9月下旬に成熟する赤色品種である。樹姿は開張性、樹の大きさおよび樹勢は中程度で、果皮を被う色は濃赤色から暗赤色で、着色が容易な品種である。果汁多く、酸味が穏和で食味良好である。

[キーワード]新品種、リンゴ、「岩手7号」、中生種

[担当]岩手農研セ・技術部・園芸研究室

[代表連絡先]電話 0197-68-4420

[区分]東北農業・果樹

[分類]技術・普及

[背景・ねらい]

本県で栽培されているリンゴ品種は、「ふじ」の割合が約40%と高く、晩生種に偏重した構成となっている。近年、「千秋」の栽培面積が減少したことから、早生種収穫以降中生種収穫前の9月下旬に収穫できる優良品種が望まれている。また、県北部・高標高地帯では「ジョナゴールド」や「ふじ」の熟期が遅れることから、中・晩生の優良品種開発が期待されている。そこで、果実品質ならびに栽培特性に優れた岩手オリジナルリンゴの中・晩生の優良品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

1. 来歴

「つがる」×「不明」

平成3年に交雑。平成12年に初結実し二次選抜に編入。平成13年に三次選抜に編入し、平成20年3月に「岩手7号」で品種登録出願。出願公表平成20年3月11日。

2. 特性概要

1) 生態及び樹性

ア 熟期は、育成地(北上市)において9月下旬である。「つがる」より遅く、「ジョナゴールド」より早く、「千秋」とほぼ同時期である(表1)。

イ 開花期は、「ふじ」とほぼ同時期である(表2)。

ウ 樹姿は開張性、樹の大きさおよび樹勢は中程度である。

2) 果実の特性

ア 果形は円、玉揃いは中、果実重は原木で250~300g程度である(表1)。現地試験の高接ぎにおいては350gを超える事例もある。サビの発生は少ない。

イ 果皮を被う色は濃赤色から暗赤色で全面に着色する(図1)。

ウ 糖度は13~14%(Brix.)、酸度は0.3~0.4g/100mlであり、果汁が多く酸味が穏和で食味良好である(表1)。まれに蜜が入る。

エ 収穫果の日持ち性は、普通冷蔵(4℃)で約1ヶ月、常温で10日程度と推察される(表3)。

オ 収穫時および貯蔵後も脂質の発生は少なく、また、つる割れ、収穫前落果など目だった欠点は現在確認されていない。

[成果の活用面・留意点]

1. 活用面

1) 早生種と中生種の収穫の端境期に成熟することから、赤色系品種のリレー出荷が可能である。

2) 収穫、選果場における集荷および選果のピークを分散し、労力分散につながる。

2. 留意点

1) 受粉親和性に関わるS遺伝子型は $S_3 S_9$ であり、黄香($S_3 S_9$)、ジョナゴールド($S_2 S_3 S_9$)の受粉樹には適さない。

2) 収穫適期については、着色だけでなく果実品質を確認し判断する。

3) 本品種の種苗の配布は平成22年3月31日まで岩手県内のみでの配布制限を行う。但し、期限終了時に更新の可能性はある。

[具体的データ]

表 1 岩手 7 号の果実品質

品種名	年	満開日 起算日数	収穫日	調査 果数	果重 (g)	硬度 (lbs)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)
岩手 7 号	2004	134	9/17	10	280	13.5	14.0	0.40
	2005	143	10/4	10	275	13.5	14.0	0.34
	2006	137	9/28	10	242	15.0	14.8	0.32
つがる	2004	117	9/1	10	304	13.7	13.1	0.27
	2005	122	9/12	10	315	12.8	13.2	0.26
	2006	124	9/15	10	336	12.3	13.1	0.24
千秋	2004	138	9/25	10	301	12.9	14.2	0.41
	2005	135	9/29	10	292	14.0	14.1	0.41
	2006	135	9/29	10	253	14.7	15.0	0.50
ジヨナゴールド	2004	154	10/8	10	360	12.9	14.6	0.48
	2005	155	10/14	10	342	13.4	14.8	0.48
	2006	149	10/11	10	365	16.2	14.6	0.55

注) 台木: 「岩手 7 号」、「つがる」、「千秋」は M.9、「ジヨナゴールド」は M.26。

注) 樹齢(2006 年): 「岩手 7 号」11 年生。「つがる」13 年生。「千秋」8 年生。「ジヨナゴールド」15 年生。

表 2 岩手 7 号の生態

年	品種	開花始	満開期
2005 年	岩手 7 号	5/6	5/14
	つがる	5/6	5/14
	ふじ	5/8	5/15
2006 年	岩手 7 号	5/11	5/15
	つがる	5/10	5/14
	ふじ	5/11	5/15
2007 年	岩手 7 号	5/8	5/11
	つがる	5/6	5/10
	ふじ	5/9	5/12

注) 台木: 岩手 7 号、ふじ、つがるとともに M.9

注) 樹齢(2007 年): 「岩手 7 号」12 年生。「ふじ」15 年生。「つがる」12 年生。



図 1 岩手 7 号の果実

表 3 岩手 7 号の貯蔵果実品質(2007)

保存条件	調査日	調査 果数	果重 (g)	硬度 (lbs)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	デンプン 反応指数
常温 (平均 14.6)	収穫 3 日後(10/1)	5	263.2	13.66	13.6	0.25	1.6
	収穫 11 日後(10/9)	10	276.7	11.79	13.2	0.21	0.3
	収穫 21 日後(10/19)	10	252.0	8.19	14.0	0.19	0.0
	収穫 32 日後(10/30)	10	314.0	6.20	13.3	0.16	0.0
低温 (4)	収穫 3 日後(10/1)	5	263.2	13.66	13.6	0.25	1.6
	収穫 11 日後(10/9)	10	262.9	13.22	13.3	0.21	1.1
	収穫 21 日後(10/19)	10	291.8	14.07	13.0	0.22	0.9
	収穫 32 日後(10/30)	10	279.5	12.82	13.8	0.17	0.7

注) 収穫日: 2007 年 9 月 28 日。高接ぎ(台木: M.9)の果実を調査。

注) 可能食味限界を硬度 12lbs 前後とし、貯蔵限界とした。

[その他]

研究課題名: いわて特産中晩生種の交配育成

予算区分: 県単

研究期間: 2002 ~ 2008 年度

研究担当者: 畠山隆幸、小野浩司、大野浩、高橋司、田村博明、奥平麻里子

発表論文等: 品種登録出願(2008.3.14)、出願番号「第 22294 号」、出願公表(2008.7.11)